

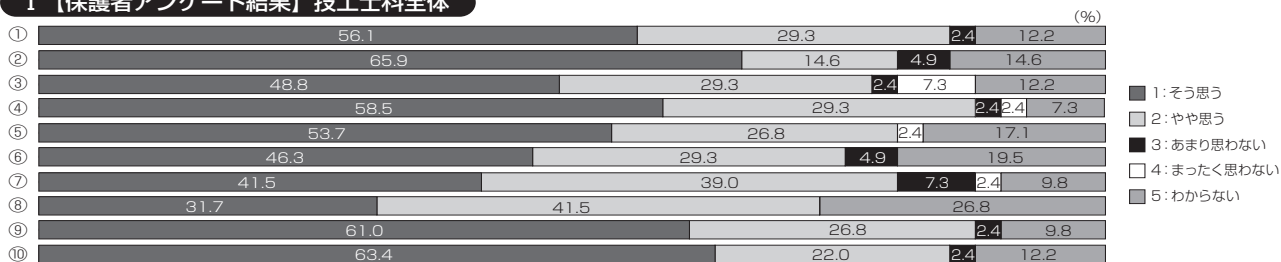
平成29年度 学校評価アンケート結果報告

番号	質 問 項 目
①	わが子（自分）はクラスになじみ、トラブルもなく充実した学校生活を過ごしている。
②	実習や資格取得の教育を中心に、他校にはない専門学校の特色を活かしている。
③	教員は熱心にわが子（自分たち）の指導に取り組み、授業にも工夫がなされている。
④	教育課程・学習内容はわが子（自分たち）の卒業後の希望を実現できるものになっている。
⑤	わが子（自分たち）の希望に応じた進路に関する指導が行われている。
⑥	わが子（自分たち）に基本的な生活習慣が身につけられるように、生活指導が適切に行われている。
⑦	新入生歓迎会、体育祭、研修旅行、講演会など学校行事は、内容が充実している。
⑧	ホームページなどをおして、保護者や外部の方々に、必要な情報を提供している。
⑨	施設・設備は、安全で快適な学校生活ができるように整備されている。
⑩	本校の教育活動は、総合評価すると満足できる。

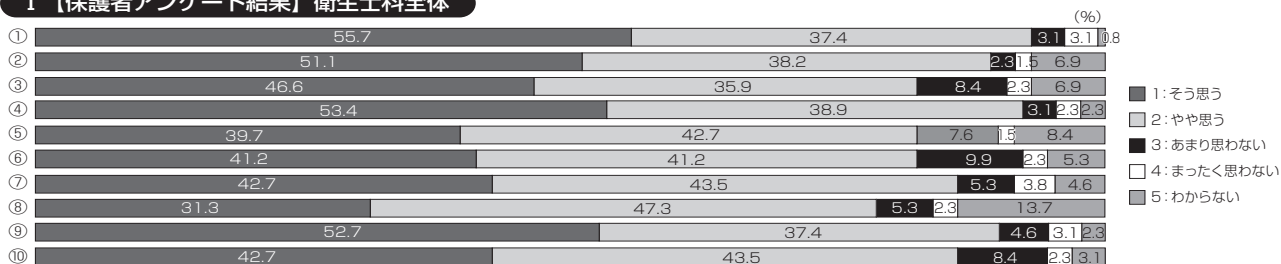
※①～⑩の各項目について、以下の1～4のいずれかで回答していただきました。
 （ただし、保護者アンケートについては、[5：わからない]を追加して実施しました。）

1：そう思う 2：ややそう思う 3：あまり思わない 4：まったく思わない 5：わからない

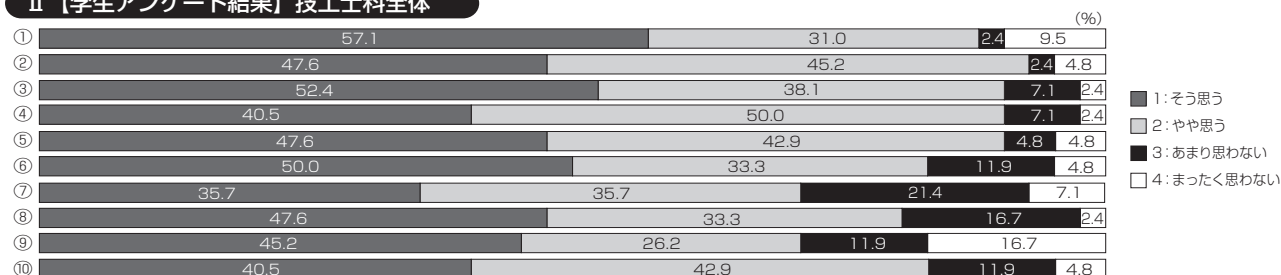
I 【保護者アンケート結果】 技工士科全体



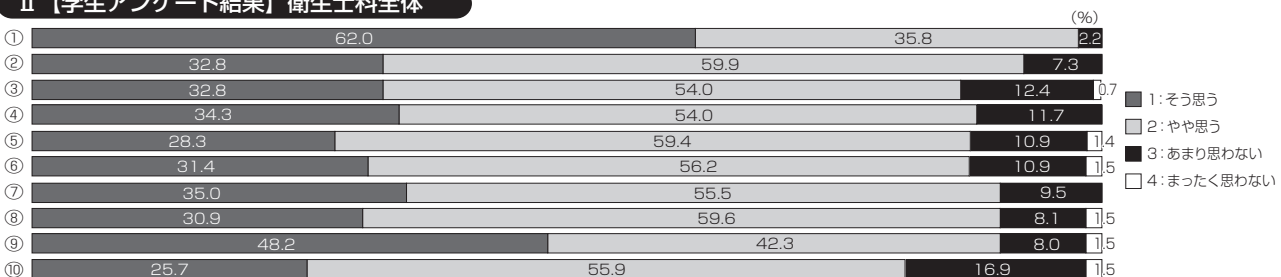
I 【保護者アンケート結果】 衛生士科全体



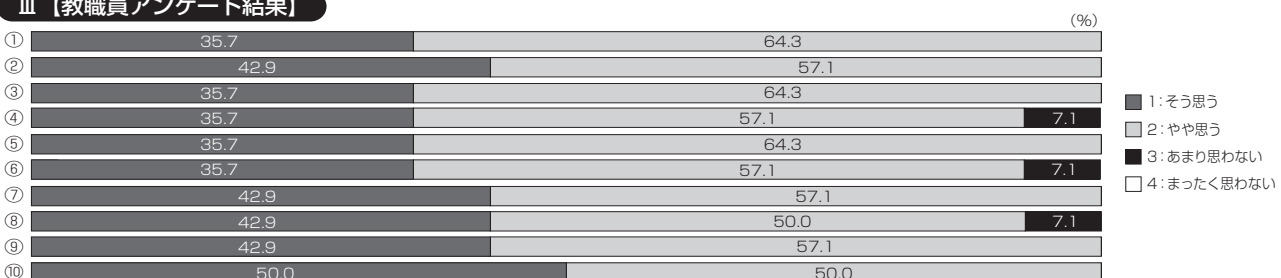
II 【学生アンケート結果】 技工士科全体



II 【学生アンケート結果】 衛生士科全体



III 【教職員アンケート結果】



平成29年度 学生・保護者アンケートにおける主な意見に対する回答

昨年度（平成29年度）10月に、学生・保護者を対象に本校の教育活動についてのアンケートを実施し、多くのご意見やご要望等が寄せられました。そこで、主なご意見に対する本校の考えや今後の対応等についてまとめましたので、報告します。

1 生活指導面について

衛生士科保護者からは、「服装については厳しすぎる面もあるかなと思う」、学生の一部からは、「校則が厳しすぎる」、「遅刻等に細かい」、技工士科学生の一部からは、「高校とは違うので服装を規制する意味が分からない」等の意見がありました。

【対応等】

- ・一般に専門学校は高校までとは異なり、生活面は学生の自主性に任せる傾向にあるのは事実です。一方、本校は歯科医療人を養成する学校であり、卒業後は患者さんや他の医療関係者と接する仕事に就くことになります。その際、清潔感を保ち周りの人から信頼される存在である必要があります。人の命を預かる仕事に携わることから、他の学校より身だしなみや服装等生活面は厳しく指導しています。専門分野の知識、技術の修得に加えて、「あそぶじ」：あいさつ、そうじ、ふくそう、じかんを守ることを通して医療人としての人間力向上を目指しており、当たり前のことが自然にできる人材に育ってくれることを本校の大きな目標の1つに掲げています。

2 情報提供について

衛生士科保護者からは、「予定が決まるのが遅い気がする」「伝達事項等の周知を早くしてほしい」「行事等の中止・待機の連絡を早めてくれると助かる」、学生の一部からは、「予定表をもっと早くほしい」「準備物など連絡事項を前日ではなく、予定表などをもっと早く伝達してほしい」、技工士科学生の一部からは、「残らなければならないときは、放課後に予定がある場合もあり、早い段階で連絡してほしい」「一斉メール送信の際は、BBCに全員のアドレスを入れて送信してほしい」等の意見がありました。

【対応等】

- ・内容によっては前日に伝達することは確かにあります。また、予定されていないことが急に決まることもあり、周知が徹底できないこともありますが、可能な限り早く連絡するよう努めていきたいと思っています。予定表も早く配布し有効に活用できればと考えています。
- ・一斉メール送信については、意見を頂いた後直ぐに改善を図り、他人のメールアドレスが分からないようになっていっていると思います。

3 授業、実習について

衛生士科保護者からは、「実習時間を減らして、国試対策の時間を増やせないか」、学生の一部からは、「分かりにくい授業がありもっと工夫してほしい」「授業のペースが遅すぎ眠くなることがある」「実習先を自分で選べるようにしてほしい」、技工士科学生の一部からは、「実技、座学以外にも現場の医療人の講演や患者さんの声を聴く機会を定期的に入れてほしい」等の意見がありました。

【対応等】

- ・本校は専任教員に加えて多くの外部講師による授業を実施しています。授業の工夫により分かる授業を心がけてはいますが、内容が専門的で高度なため、分かりにくいものもあるかも知れません。専任教員は相互授業参観や研修等で授業力向上を図っています。また外部講師の先生方には講師会等で再度授業の充実をお願いしています。
- ・学生が主体的に授業に参加できるよう、反転授業やグループ討議、ワールドカフェなど、協働的な学習手法を取り入れていきます。
- ・実習時間は国で定められた時間数以上を行う必要があり、減らすことは困難ですが、国試対策については、今年度時期を早めて実施するなどにより時間数を増やしており、模試の結果等にも成果が表れつつあります。
- ・実習先の選定については、学生本人の希望や居住地等を考慮してはいますが、学生の人数が多く、必ずしも希望通りにはなっていません。全体のバランスも考えながらできる限り希望に添うよう考えていきたいと思っています。
- ・講演や患者さんの声を聴く機会については、1年次に見学実習（歯科医院、中小歯科技工所の見学）、2年次に大手歯科技工所の企業見学を実施しており、また、歯科医師会や歯科技工士会の主催する講演会、研修会等に学生が参加する機会を設けています。

4 進路、就職指導について

衛生士科学生から「前年度の就職状況についてもっと詳しく情報提供してほしい」「就職面接前、自由に見学にいった方がよい」等の意見がありました。

【対応等】

- ・情報提供については、面接等の報告書を提出してもらい、次年度の学生が参考にできるように整備したいと考えています。
- ・就職面接前の見学については、役員と相談しながら一定期間内に複数の歯科医院等を見学できるように検討しています。

5 施設等について

保護者からは、「学食があれば良い」、学生からは、「購買部のようなものがあれば便利で良い、食べ物を買う自販機などがほしい」等の意見がありました。

【対応等】

- ・学食や購買部については、校内のスペースやスタッフ等の問題もあり、当面設置は困難だと思われます。
- ・食べ物の自販機については、役員等と可能性を協議した結果、食の安全、食育推進の観点から設置にはもう少し検討が必要と判断し、今後の継続課題としたいと思っています。